



【一般質問とは】

定例会で、議員が市の施策の状況や方針などについて、報告や説明を求める質問をすること。



岡 るみ

初当選以来ほぼ毎回、本会議で一般質問に登壇してきました。昨秋までは議長職を務め、議会運営に専念していましたので、昨年12月議会で1年ぶりに質問に立ちました。今期は特に、過去に一般質問で取り上げた課題のその後について、を聞いており、3月議会で「課題のいま」、を問いました。

「本人通知制度」とは、住民票の写しや戸籍等を第三者や本人の代理人に交付した場合、事前登録した人に交付した事実を通知する制度です。制度利用の促進で、不正請求の早期発見、不正取得による権利侵害や、特殊詐欺の防止対策強化を訴えました。今後も安心安全な暮らしづくりを求めていきます。

① 「本人通知制度」の現状と課題について

- ▶ 登録数の現状、導入以来の推移、周知の状況(媒体、回数、対象範囲等)について
- ▶ それらを踏まえ、制度導入による効果の検証と市としての見解について
- ▶ 市民とともに制度の周知を図る工夫について

② 「重層的支援体制整備※」の進捗状況について

- ▶ 「重層的支援」とはどのような考えなのかについて(事例をもとに現状と課題)
- ▶ この考え方を市民と協働で進めていく方向性について

※重層的支援体制整備とは...地域住民が抱える「複雑・複合化した課題」に対し、高齢者、障がい者、子ども、困窮等の分野の枠を超えて包括的(まるごと)に支援する仕組みを整える市町村の取り組み。「相談支援」、「参加支援」、「地域づくり支援」を柱に、共生社会(多様な人々が対等な立場で社会参加・貢献できる全員参加型の社会)の実現を目指す。



川北 まさる

近年、線状降水帯や大型台風による豪雨災害が各地で頻発し、倒木による道路閉塞や停電が市民生活に深刻な影響を及ぼしています。令和元年の房総半島台風では、倒木が電柱や送電線を損傷し、最大約93万戸が停電、全面復旧まで約2週間を要しました。こうした災害を踏まえ、川西市においても「事後対応型」ではなく、平時から備える「予防型防災」への転換が不可欠であるとの問題意識のもと、**倒木リスクを未然に防ぐ「事前伐採」の必要性**について一般質問を行いました。

私は今後も現場の声に耳を傾けながら、実効性ある防災対策を粘り強く提案し、「もっと」安全安心な川西市の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

① 豪雨・台風災害に備えた事前伐採の推進について

- ▶ 本市における倒木による道路閉塞や停電リスクの現状認識と危険木の把握状況について
- ▶ 過去の豪雨・台風時における倒木被害やライフラインへの影響について
- ▶ 電力会社や兵庫県との事前伐採に関する協議・連携状況について
- ▶ 通学路や避難路を優先した重点的な事前伐採計画を策定する考えについて



詳細はこちら



連合かわにし市民の会

THE UNION KAWANISHI CITIZEN'S ASSOCIATION

皆さま、いつも温かいご支援をありがとうございます。市政の現場で感じるのは、一人ひとりの声の重みです。その声をしっかり受け止め、政策へとつなげていくことが、私達の役割だと考えています。

「子どもの幸せから始まるまちづくり」を軸に、これからも現場に寄り添いながら取り組んでまいります。「ありがとう」があふれる川西へ。皆さまとともに進んでまいります。



令和8年
第1回定例会 総括質問



【総括質問とは】

3月定例会で、会派の代表が、市長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問のこと。

3月議案まとめ



【総括質問と答弁(要約版)の抜粋】

Q1 子どもの声は政策に反映されているか?

子ども・若者参加条例に基づき、学校訪問や意見交換を拡充。一部の意見は施策検討の契機となり、生徒主体の予算制度も創設。一方で、すべての意見が反映されるわけではなく、フィードバックを含めた仕組みの充実が重要と認識。

Q2 若者の参加と就労の「空白」は埋まっているか?

若者の参加機会はオンライン等も含め拡充。就労支援については体験・マッチング等を通じて対応。今後は学校外の若者への到達が課題。

Q3 高齢者・障がい者支援は届いているか?

見守り体制や相談機能を強化。障がい者の居場所づくりや支援体制整備を推進。今後は「必要な人に確実に届く仕組み」が重要。

Q4 北部のまちづくりは暮らし改善につながるか?

施設整備や拠点づくりを進めている。今後は「整備した」ではなく「暮らしがどう良くなったか」を成果として示す必要がある。



詳細はこちら



幹事長 中井 なりさと

今回の答弁から見えたのは、**制度としては前進しているが、「実感」に届くかが次の段階であるという点**です。子どもが「意見を言ってよかった」と思えること。保護者が「ここに相談すれば大丈夫」と安心できること。現場で働く人が「この仕組みなら支えられる」と感じられること。政策は、ここまで届いてこそ意味があります。私はこれまで、「子どもは結果である」とお伝えしてきました。子どもの姿は、家庭や地域、そして政治のあり方の結果です。

だからこそ、まず子どもの幸せから始める。この考え方を、理念で終わらせず、制度に、予算に、そして日々の暮らしの実感にまで落とし込んでいく。それが、今の政治に求められている責任だと考えています。

お問い合わせ

〒666-8501 川西市中央町12番1号 市役所6階

電話 072-740-1269 / ファクス 072-740-1318

連合かわにし市民の会

https://rengo-kawanishi.com



予算の概要 (抜粋)



【市の予算とは】

市民のみなさんが健康で安全に生活ができるように、1年間どんなことに使うかを計画したものです。

令和8年度 当初予算額(A)	令和7年度 当初予算額(B)	差引(A)-(B)	増減率
70,789,000	71,477,000	△688,000	△1.0

(単位:千円、%)

詳細はこちら

一般会計

子ども・若者の意見表明の機会確保

子ども政策推進事業・中学校運営事業・特別支援学校運営事業

子ども政策課・教育総務課 **248万円**

審議会委員に子ども・若者委員枠を設けるなど、子ども・若者の意見表明のための取組みを推進します。また、学校生活において、子どもたちの意見が実現するように支援します。

清和台地域の市立学校のあり方検討

教育推進事業

教育政策課 **37万円**

子どもたちが「ひとつの学校でともに学ぶ」環境を整備するため、清和台地域の市立学校のあり方を検討します。

フリースクール等の民間施設へ通う児童生徒への支援

就学支援事業

教育総務課 **180万円**

フリースクール等の民間施設に通う不登校児童生徒の保護者の経済的負担軽減のため、民間施設での授業料等にかかる費用の一部を支援します。

民間プールを活用した水泳授業の拡大

小学校運営事業・中学校運営事業・特別支援学校運営事業

教育総務課・教育政策課 **7,597万円**

これまで一部の小中学校と川西養護学校で試行実施していた民間プールを活用した水泳授業について、子どもたちの学習環境の充実のために全16小学校に拡大して実施します。

部活動の社会移行の推進

学校教育支援事業・就学支援事業・中学校運営事業

教育保育課・教育総務課 **2,652万円**

令和8年度から本格実施となる部活動の社会移行に対し、中学生の放課後の活動を持続可能にするため、子どもたちが安心して地域クラブの活動に参加できるよう支援します。

放課後キッズプレイス(放課後児童の居場所)の拡大

放課後児童居場所づくり事業

入園所相談課 **1億1,187万円**

留守家庭児童育成クラブの待機児童対策の一つとして、学校施設を活用し、おとなが児童を見守り、サポートを行う放課後児童居場所づくり事業を2校から11校に拡大します。

	令和8年度 当初予算額(A)	令和7年度 当初予算額(B)	差引(A)-(B)	増減率
国民健康保険事業	14,108,367	14,113,616	△5,249	0.0
後期高齢者医療事業	4,486,500	4,130,374	356,126	8.6
介護保険事業	17,718,614	16,925,177	793,437	4.7
用地先行取得事業	1,597,465	1,112,532	484,933	43.6
合計	37,910,946	36,281,699	1,629,247	4.5
水道事業	4,679,775	4,696,929	△17,154	△0.4
下水道事業	5,657,704	5,633,472	24,232	0.4
病院事業	3,592,349	4,072,787	△480,438	△11.8
合計	13,929,828	14,403,188	△473,360	△3.3

(単位:千円、%)

特別会計

企業会計

地域花火大会の開催支援

笑顔続く未来創造事業

参画協働課 **800万円**

市内各地域におけるまちへの愛着醸成のため、花火大会実施を希望する8地域のコミュニティ組織を支援します。

川西能勢口駅まち空間の魅力創造

川西能勢口駅まち空間魅力創造事業

企画政策課 **800万円**

川西能勢口駅周辺において、ペDESTリアンデッキ及び東側エリアの駅まち空間の魅力を高めるため、基本構想を策定します。

若年者就労体験の支援

労働者支援事業

産業振興課 **200万円**

継続就労困難者等の就労が継続できるよう、これまでの個別面談・体験のやり方を見直し、集団でのセミナーや生活訓練等を実施し、個別面談・体験を行うことで、より効果的な支援を行います。

介護予防・健康ポイント事業「笑顔ミライちょきん」の充実

健康づくり推進事業・地域介護予防・生活支援体制整備事業

保健センター・予防歯科センター・介護保険課 **3,059万円**

認知症予防や健康づくり等のきっかけ創出のため「笑顔ミライちょきん」の参加者数を増やすとともに、健康ポイントの当選者数を増やします。

通所介護事業所の共同送迎業務への支援

【介護特会】介護保険総務管理事業

介護保険課 **293万円**

通所介護事業所の送迎業務を共同化するため、運営体制の構築支援を行います。

久代地域における道路整備

空港周辺地域整備事業

都市政策課 **9,812万円**

歩行者の安全性を向上させるため、久代地域の市道22・82号の道路整備工事を実施します。

平野山下線・大和団地線運行バスの購入補助

公共交通支援事業

交通政策課 **2,978万円**

バス路線の維持を図るため、平野山下線・大和団地線で運行しているバスの購入を支援します。

自治会にかかる地域づくり支援補助金の拡充

参画と協働のまちづくり推進事業

参画協働課 **545万円**

現行の補助制度について、持続可能な運営を目指した取組みなどに対する支援を拡充します。

清和台地域の小学校跡地活用の検討


政策企画・立案事業

企画政策課 **50万円**

清和台地域の学校のあり方を踏まえ、跡地の活用の検討を進めます。

pickup!

加茂6児童遊園地がスケートボード場に生まれ変わります!!



ふくにし 勝

3月19日(木)にスケートボード場兼バスケットボールコート(3×3)の内覧会に行ってきました。若い人から大人までたくさんの人からスケートボード場がほしいと要望を頂いていました。そこで連合かわにし市民の会からはバスケットボールもできる施設の整備を予算提言しました。

中国自動車道高架の加茂6児童遊園地がリニューアルされ4月4日(土)からオープンします。開園時間は9時～21時まで無料で利用でき駐車場30台、駐車場13台整備されました。中国自動車道高架は雨天時も利用することが想定されます。多くの利用者から愛される施設になってほしいと願います。尚、施設の名称は公募によって4月4日(土)のオープニングセレモニーで発表されますので、会報誌が皆さんに届く頃には正式名称が決まっています。

